



金谷川小だより

かなやがわ小フランドの創造

令和4年 3月4日

No. 32

児童数 75名

校長 穴戸 与一

1年間の締めくくり

三寒四温と言われるように、暖かくなったり寒くなったりの繰り返しですが、徐々に寒さが和らぎ、春の陽気が感じられるようになってきました。柔らかな日差しを浴びて、チューリップの芽も少しずつ大きくなってきています。校庭の草木も春の訪れを待ちわびているようです。

いよいよ今年度最後の月に入りました。各学級とも、今年度のまとめを行うとともに、進級・進学に向けての準備を進めています。

コロナの制約で、6年生にとって残念なこともありましたが、下級生のお世話から、委員会やクラブ活動のリーダーとして、また、運動会や学習発表会の推進役として見事に最高学年としての責任を果たしてくれました。6年生の活動一つ一つが、日を追うごとに頼もしく感じた1年でした。

いよいよ卒業。6年生自身も、自分たちが多くの方々に大切に育まれ、成長してきたことへの感謝の思いを深くしてほしいと願います。



自己肯定感を上げる

近年の教育課題の一つとして、子どもたちの自己肯定感の低さが取り上げられています。自己肯定感とは、自分に自信をもち、肯定的に自分を認識するといった意味です。ある統計によると、“自分はダメな人間だと思う”と回答した高校生が7割を超えていました。

でも、自己肯定感を上げることは、そんなに簡単なことではありませんよね。やたらとほめても、子どもはそんな大げさなと思うこともあるでしょう。何かの見返りや、何かと引き換えにほめると、ほめられない自分は価値がないと考えてしまう子どももいます。自己肯定感とは、薄い皮を何層も何層も重ねることで醸成されるとも言われています。薄い皮を重ねるためにはどうするのか。それは、家族一緒に食事をして「おいしいね」と感想を伝え合ったり、道端に咲いている花を見つけて「きれいだね」と言い合ったりすることだと思います。同じ気持ちの人がいるということが子どもに自信をもたせます。

最近、家の近くの梅からいい香りがしてきます。「春の準備をしているのだなあ」なんて感想を誰かと共有してみたいものです。

6年生を送る会

3月9日（水）3・4校時

体育館に全校生がそろって、6年生に感謝の気持ちを送ることは難しいので、工夫しながら実施できたらと思っています。

5年生が中心となって、準備を進めているところです。



卒業式 3月23日（水）

9時50分 開式

10時50分 閉式

11時50分 見送り

コロナ禍の中、新しい生活スタイルの範を示しながらリードしてくれた6年生が、大いなる希望を抱いて晴れやかに巣立ちゆく卒業式となるよう、職員も子どもたちも一同に力を合わせて参ります。

